

中国人力資源開発網「“適切な人を探せない”と“適切な仕事を探せない”」

—— 2004年人材採用問題の調査報告

【調査目的】

近年、企業は必要な人を探すことに苦労している同時に、求職者たちは適切な仕事を探せないと悩んでいることは中国社会の一つの社会現象である。企業側と求職者側はそれぞれは一体どんな問題があるのでしょうか、またそれぞれが相手にどんな見方と期待があるのでしょうか。その答えを解かすために本調査を設計しました。

【調査対象とサンプル数】

調査対象：すべての求人企業とすべての求職者。それぞれに「採用企業調査アンケート」と「求職者調査アンケート」を設けました。

調査時期：2004年3月19日 —— 2004年3月24日

有効答え数：478件（企業）と1013件（個人）

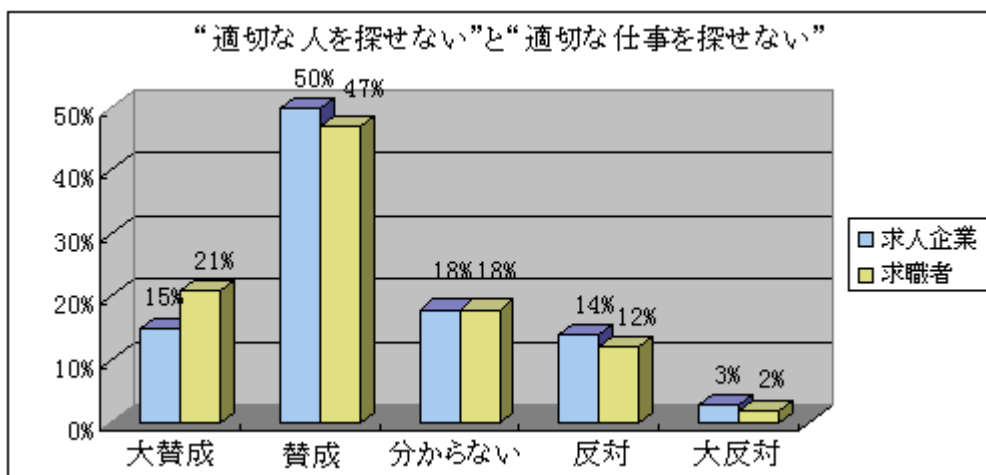
【計画と実施】

雑誌「HR世界」計画、中国人力資源開発網実施、Sina.com採用チャネル協力。

【調査結果】

一、“適切な人を探せない”と“適切な仕事を探せない”は普遍的な現象である。

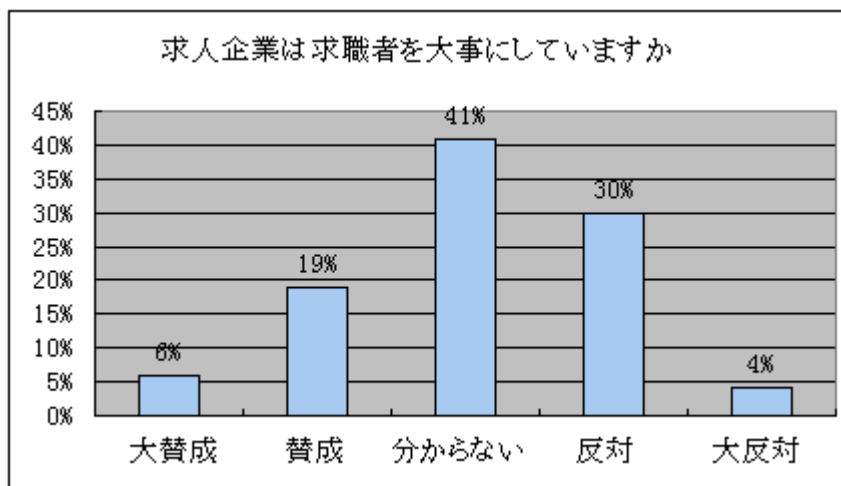
「求人企業に“適切な人を探せない”、求職者に“適切な仕事を探せない”という観点を賛成するか」を聞きますと、それぞれ65%の求人企業と68%の求職者が“賛成”と答えました。これは現実的な問題であるのが分かるでしょう。



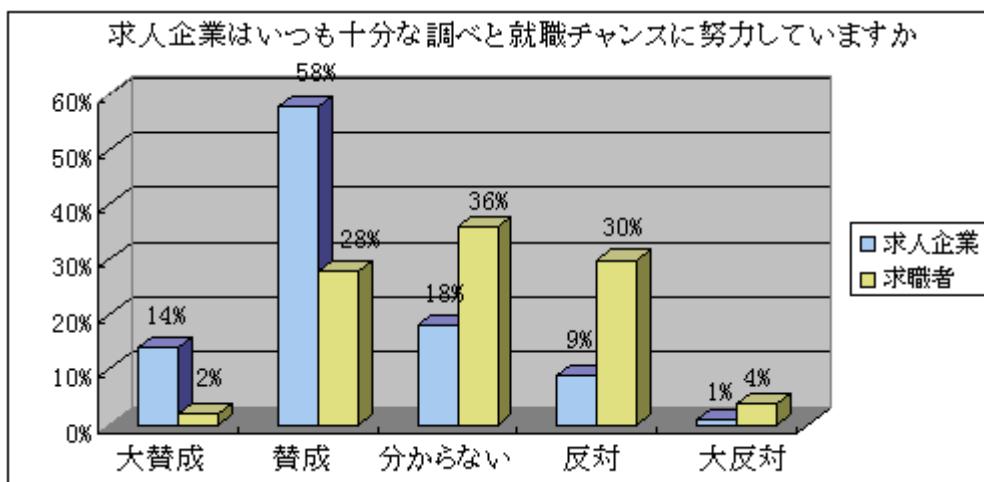
二、求人企業は採用中にある問題点

1. 求人企業は求職者へ不十分な尊重の意。

ただ 25%の求職者が、求人企業側に求職者への「尊重の意があった」と見ています。

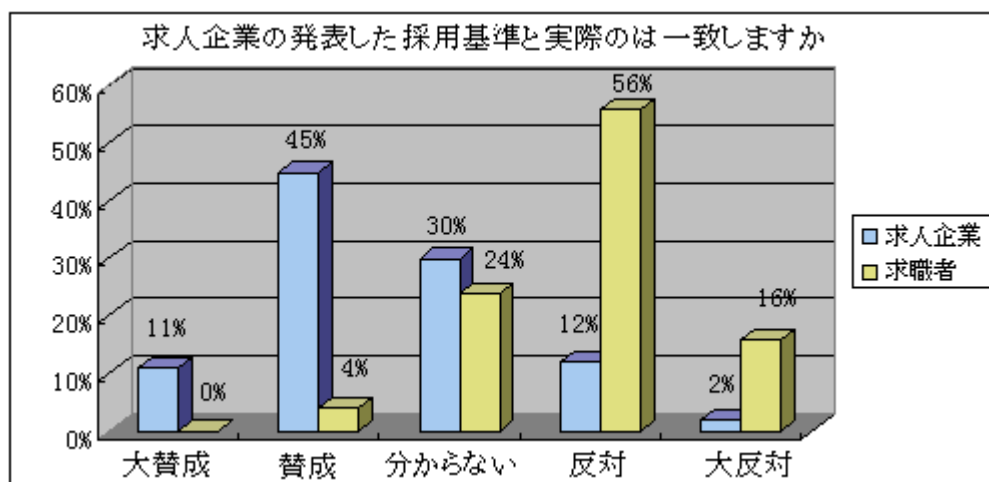


2. 求人企業の求職者に関する調べることは不足である。



72%の求人企業は“十分な調べと就職チャンスに努力した”と主張していますが、30%の求職者しか賛成していない。それは求人企業が実際的に求職者を調べる程度と意欲が自分の思った程度との間に大きいギャップと示しています。

3. 求人企業発表した採用基準と実際のは一致しない。



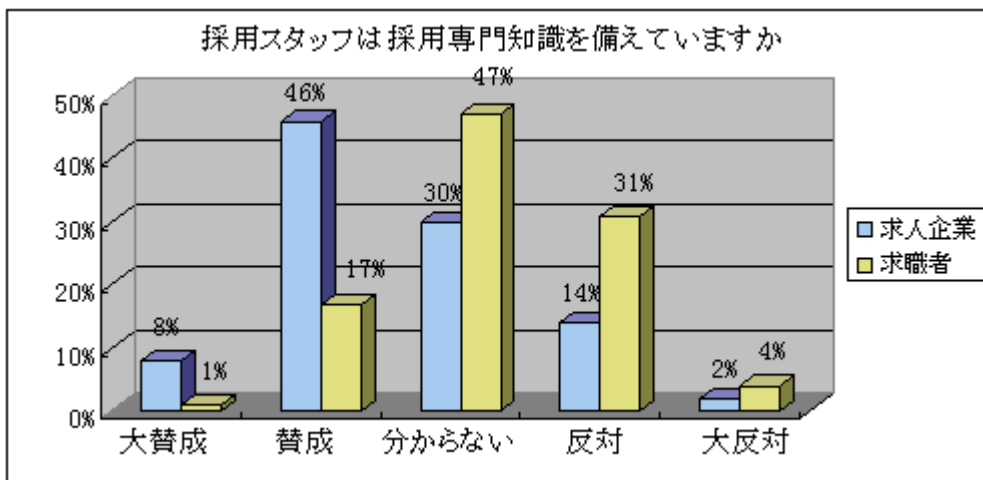
56%の求人企業は広告で宣伝した採用基準と実際の採用基準は一致すると考えてあり、求職者はそれに対してわずか4%の人は賛成する。それは求人企業は採用基準の設定と実行の間に“表裏不一”という深刻な問題である。

4. 求人企業は採用スタッフは採用専門知識が不足

40%の求人企業は採用部門のマネージャーやスタッフに採用に関する知識を教育訓練を行うことがあります。

54%の求人企業は採用スタッフが採用に関する専門知識を持っていると考え

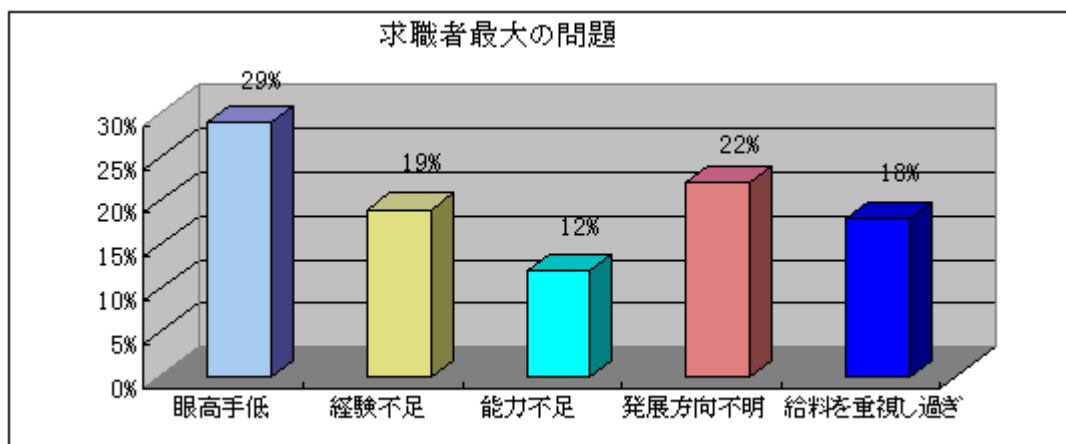
ていますが、一方、求職者側は18%の人が採用スタッフの専門能力を認めています。



これらのデータを見てみると、求人企業は自社の採用部門のスタッフの専門知識の不足することはまだはっきり認識していない。それは通常求職者が企業に対しての印象をマイナスなり、企業と個人の間のコミュニケーションとインターアクションに影響を与え、採用の質を落ちる原因となります。

三、求職者が求職中における問題

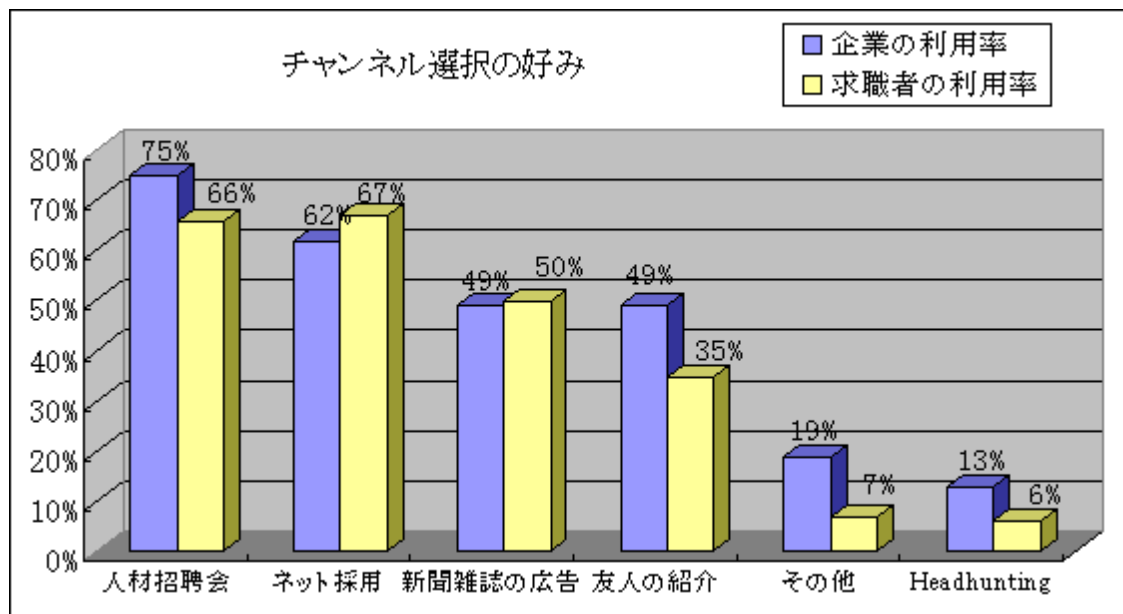
求職者の最大の問題は“眼高手低”と“自身の発展方向不明”である、それぞれは“29%”、“22%”となります。しかし、“能力不足”は重要なポイントに見られません。その割合は最低の12%である。



注：“眼高手低”は中国語の熟語であり、日本語に訳しますと、“眼識は高いが自分ではできない、要求は高いが実力が伴わない”「中日辞典」(小学館)という意味である。

四、それぞれの採用チャンネル選択の好み

「人材招聘会」、「ネット採用」、「新聞、雑誌の広告」は求人企業と求職者両側もよく使われている採用手段である。



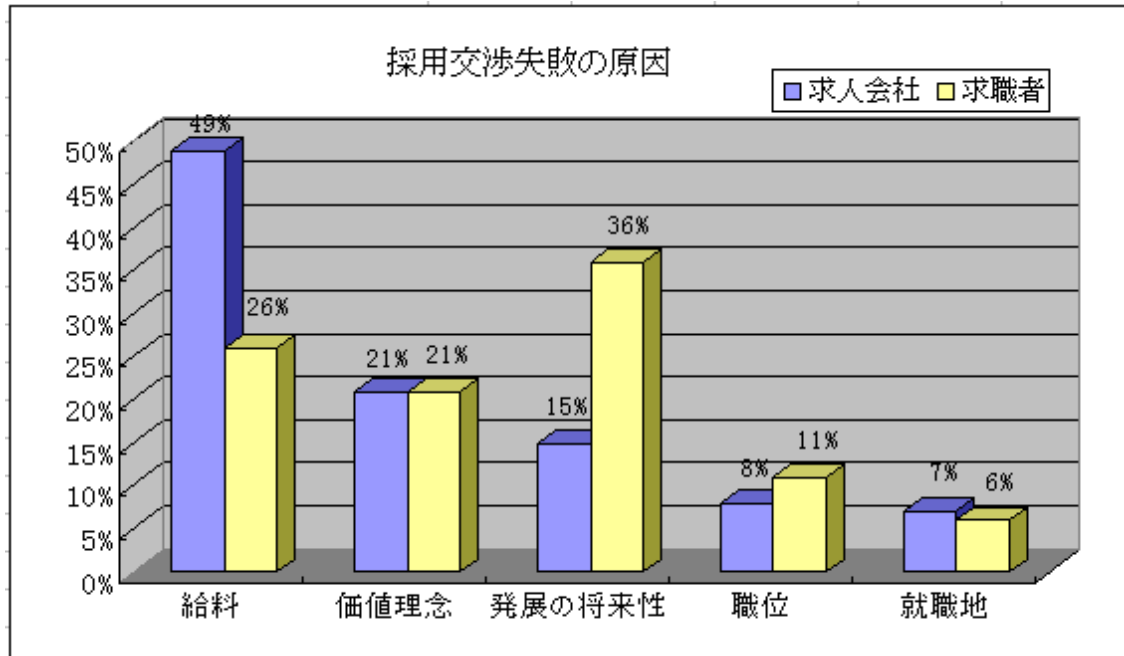
また、仕事経験によって採用チャンネルの選択が異なっています。

	10年以上	6-10年	3-5年	1-2年	新卒
ネット採用	66%	71%	73%	67%	42%
新聞雑誌	57%	62%	59%	47%	42%
人材招聘会	51%	50%	66%	63%	79%
社員/友人紹介	33%	35%	36%	39%	33%
Headhunting	14%	15%	7%	2%	2%

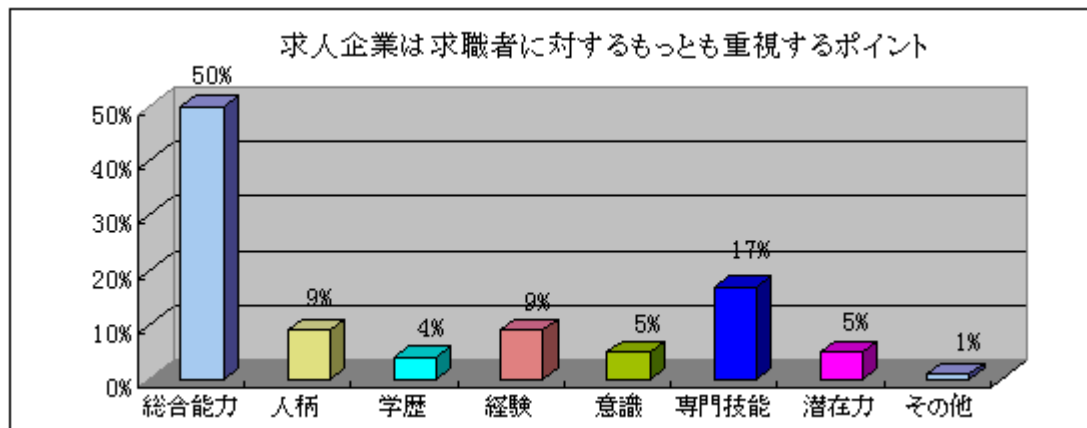
これらのデータによると、「ネット採用」の対象は仕事経験3-5年と6-10年を中心とする人材ですが、「人材招聘会」は仕事経験が少ないまたは新卒に狙う採用チャンネルである。

五、それぞれの期待

求人企業と求職者を交渉するとき、主に五つの対立点があり、採用交渉の失敗の原因となります。

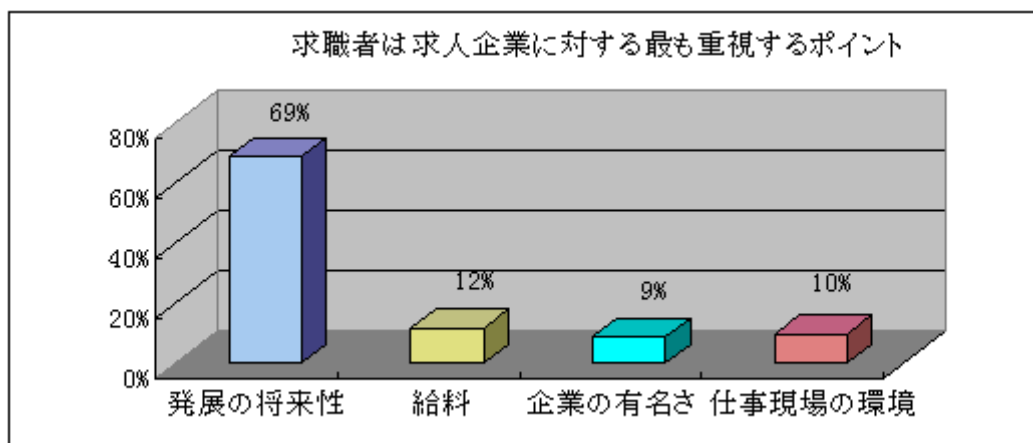


求人企業は求職者に対する最も重視するポイントは？



企業は求職者の総合能力、専門技能と経験を最も重視しています。

求職者は求人企業に対する最も重視するポイントは？



求職者は就職活動をするときに「個人発展の将来性」をもっとも重視しています。

以上